

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

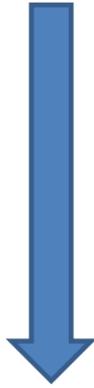
事業名	若年労働者等キャリアアップ支援・相談事業		担当部局庁	職業能力開発局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	キャリア形成支援室		キャリア形成支援室長 浅野 浩美	
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		政策・施策名	V-1-1 多様な職業能力開発の機会を確保すること			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	職業能力開発促進法第15条の2第1項第3号、同条第2項、雇用保険法第63条第1項第7号、雇用保険法施行規則第125条の2第2号		関係する計画、通知等	日本再興戦略(平成25年6月14日閣議決定)、若者・女性フォーラム(平成25年5月19日決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	職業生涯の長期化や働き方の多様化、産業構造の変化等が進む中で、個人が能力を発揮し、経済成長の担い手として活躍できるようにするためには、労働者自らが教育訓練を受講するなど、自発的なキャリア形成を図っていくことが必要となっている。しかしながら、若年労働者等の中には、どのような教育訓練が自分の目指すべきキャリアアップに適切なのか分からない場合も多く、本人のキャリアアップに資するプログラムを受講させるためには、プログラム選択にあたって、キャリア・コンサルティングを実施する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	若年労働者等を対象に、本人の職業経験や能力を踏まえ、今後の職務に活かせるプログラムを選択するための相談等を行い、本人のキャリアアップに資する学び直しプログラムにつなげるなど、自発的なキャリア形成を支援する。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		当初予算				736	
		補正予算					
		繰越し等					
	計					736	
	執行額						
執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	キャリアアップにつながった者の人数	成果実績	人				-
		達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	キャリア・コンサルティング実施延べ人数	活動実績 (当初見込み)	人				-
					()	()	()
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	生涯職業能力開発事業等委託費		736				
	計		736				

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	学び直しプログラムの受講を支援するための給付が検討されており、支給にあたっては、本人のキャリアアップに資する適切なプログラムを受講させることが必要である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	国の雇用保険給付の適正な給付のためには、民間等に委ねることはできない。		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	「日本再興戦略」にも学び直し支援について盛り込まれているところ。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-	-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	効果的な予算執行に努めるとともに実績等を踏まえ、必要に応じて見直しを行う。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	本件事業は若年労働者を対象に、本人の職業経験や能力を踏まえ、今後の職務に活かせるプログラムを選択するための相談等を行い、本人のキャリアアップに資する学び直しプログラムにつなげるなど、自発的なキャリア形成を支援するものであり、その重要性から優先度の高いものである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 736百万円

事業主体として事業全体の企画立案、進捗管理
等



【企画競争・委託】

A.受託企業 736百万円

全国47拠点において、若年労働者等が、学び直しプログラムを含め、キャリアアップについて、
キャリア・コンサルタントによる相談を実施

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					